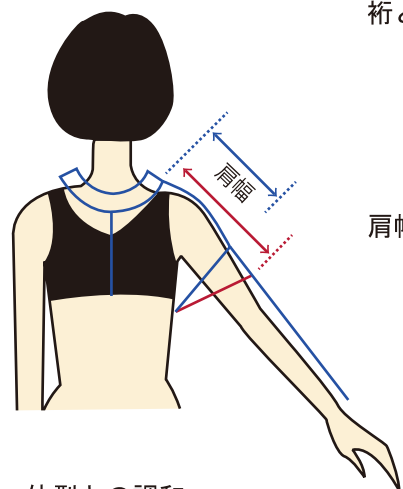


きもの豆知識

衿の寸法について

着物の仕立ては洋服とは違い、どんな方でも同じような作り方をします。ですから、体型による作り方をアレンジする要素が少ないのですが、少しの違いで一気に着姿がきれいになります。とくに衿は重要で、着姿に満足できていない方は一度見直してみてもいいかもしれません。



衿とは

着物の寸法の中で最も着姿に影響する寸法のひとつが衿です。衿の基本計算 衿の長さは、「肩幅＋袖幅」で決まります。一般的に、自身の腕を自然に下ろした状態で手首のくるぶしあたりまでの長さが適切な衿寸法とされています。

肩幅と袖幅の比率

肩幅が広いと、肩のラインがしっかりと出るため、安定感のある着姿になります。ただし、広すぎると着物がずり落ちやすくなる場合があります。肩のあたりにしわもよりやすくなります。袖幅が広いと袖にゆとりが生まれ、動きやすくなりますが、広すぎると袖が目立ちすぎてバランスを崩すこともあります。

体型との調和

肩幅が広い人は肩幅をやや広めにし、袖幅を少し抑えると着姿が整いやすくなります。肩幅が狭い人は袖幅を広めにしてバランスを取ると、肩の張りが少なくなり自然なラインになります。

着付けの好みに応じた調整

衿を長めにすると現代的な着付けに向いており、手首までしっかりカバーできます。

衿を短めにすると古典的な着付けになり、手首が少し見えることで軽やかな印象になります。

歌舞伎のススメ ～八代目尾上菊五郎襲名披露公演～

2025 年、歌舞伎界にとって重要なイベントが開催されました。六代目尾上菊之助さんが八代目尾上菊五郎を襲名し、歌舞伎界に新たな節目を迎えました。尾上菊五郎の名跡は 1730 年に京都で誕生し、江戸歌舞伎の発展とともに受け継がれてきた由緒ある名跡です。特に五代目は「團菊左時代」を築き、市川團十郎、市川左團次とともに歌舞伎の黄金期を支えました。今回歌舞伎座で開催の襲名披露公演は、5 月の「團菊祭五月大歌舞伎」から始まり、「六月大歌舞伎」へと続きます。5 月の「團菊祭五月大歌舞伎」では『京鹿子娘道成寺』で坂東玉三郎さん、息子の尾上菊之助さん、八代目菊五郎さんの三人で白拍子花子を演じるというめったにない見どころの演目と言えます。6 月公演では、演目には『菅原伝授手習鑑』の「車引」や「寺子屋」など、忠義と親子の絆を描く作品が選ばれました。さらに、音羽屋の芸を象徴する『連獅子』も披露され、代々の芸を継承しつつ新たな挑戦を見せています。襲名は単なる名前の継承ではなく、芸と心を受け継ぐ重要な儀式です。八代目菊五郎さんは、父や祖父の教えを胸に、伝統を守りながら革新を続ける決意を語っています。歌舞伎の未来を担う新たな菊五郎の活躍に期待が高まります。十月の御園座公演は是非とも見に行きたいと思います。



あそびの玉手箱

日本の社会においてサングラスをするということは何となくカッコつけているとか、まだまだ昔の不良のイメージがあるため公共の場でサングラスをすることははばかれますが、最近車の運転の時サングラスをしている人が多くなってきました。近年環境破壊の観点から紫外線も以前より多く降り注いでいるため、肌を紫外線から保護したり、目を保護して白内障などのリスクを減らす対策はとても重要といわれています。海外ではサングラスをして紫外線から目を守るというのは当たり前ののですが、日本の社会でももう少し意識が高まっていくと思います。私事ですが、50 歳をすぎて、日中にサングラスなしに車の運転をしたり、屋外で長い間過ごしていると、まぶしいし、目が真っ赤になってしまうこと多くなってきました。



ですから最近サングラスが必須アイテムです。お気に入りのサングラスメーカーはオークリーというアメリカのスポーツ選手用のアイテムを多く手掛けているメーカーで、大谷翔平選手なども愛用しています。皆さんもできるだけ外出の時はサングラスをかけて自分の目を守りましょう。

～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？個人の作品から、趣味の教室（お花、写真、書道、絵画、手芸など）の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程（毎月 5 日間）に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂けます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日（毎月 5 日間）

料 金：1500 円（5 日間）

作品を販売する場合は売り上げの 10%別途頂きます。

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。



0563-35-0039

大橋まで

着付教室 12 回

1 回 1000 円

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000 円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは 大橋幸子まで

TEL 0563-35-0039

竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



6 月のカフェでは久しぶりに藍染めの服を展示いたします。最近、ものづくりも大変な時代になってきました。藍染めの服をご紹介できる貴重な機会ですので是非ともご覧ください。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

6 月 26 日（木）～ 30 日（月）

藍染めの服展を開催します。

歌舞伎のススメ

～八代目尾上菊五郎襲名披露公演～

2025 年、歌舞伎界にとって重要なイベントが開催されました。六代目尾上菊之助さんが八代目尾上菊五郎を襲名し、歌舞伎界に新たな節目を迎えました。尾上菊五郎の名跡は 1730 年に京都で誕生し、江戸歌舞伎の発展とともに受け継がれてきた由緒ある名跡です。特に五代目は「團菊左時代」を築き、市川團十郎、市川左團次とともに歌舞伎の黄金期を支えました。今回歌舞伎座で開催の襲名披露公演は、5 月の「團菊祭五月大歌舞伎」から始まり、「六月大歌舞伎」へと続きます。5 月の「團菊祭五月大歌舞伎」では『京鹿子娘道成寺』で坂東玉三郎さん、息子の尾上菊之助さん、八代目菊五郎さんの三人で白拍子花子を演じるというめったにない見どころの演目と言えます。6 月公演では、演目には『菅原伝授手習鑑』の「車引」や「寺子屋」など、忠義と親子の絆を描く作品が選ばれました。さらに、音羽屋の芸を象徴する『連獅子』も披露され、代々の芸を継承しつつ新たな挑戦を見せています。襲名は単なる名前の継承ではなく、芸と心を受け継ぐ重要な儀式です。八代目菊五郎さんは、父や祖父の教えを胸に、伝統を守りながら革新を続ける決意を語っています。歌舞伎の未来を担う新たな菊五郎の活躍に期待が高まります。十月の御園座公演は是非とも見に行きたいと思います。

